第15回 日本ジオパーク全国大会 十勝岳大会

ー地球に学び、未来を育むー

協賛企業・団体

三笠ジオパーク MIKASA GEOPARK

SHIRATAKI GEOPARK

TOYA-USU GEOPARK

Mt. APOI GEO PARK

とかち鹿追ジオパーク

大雪山 カムイミンタラ ジオパーク構想

イオン環境財団

OYO 応用地質株式会社

Geo.Labo 株式会社 ジオ·ラボ

地域の宝を守り、その魅力を共有したい

HERB GARDEN Furano

Herb Hill Furano HOKKAIDO

想い出のふらの OMOIDE NO FURANO

吉田観光

士詠山大泉寺/阿野舘

公職供養塔をクラウドファンディングにて建立いたしました

阿野全成 沼津 井出 大泉寺 で検索

サマージャンボ宝くじの収益金は、
市町村の明るく住みよいまちづくりに活用されています。

詳しくは こちら

ジオパーク全国大会

主催：第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会実行委員会／一般財団法人自治総合センター
協力：特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク／日本ジオパーク委員会

第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会実行委員会

委員長　角 和　浩 幸（美瑛町長）

第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会の開催にあたり、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本大会を、北海道美瑛町·上富良野町の両町において開催できますことを、大変光栄に存じます。ご多用のなか全国各地からご参加いただきました皆様に、心より歓迎の意を表します。

十勝岳ジオパークは、火山活動がもたらした雄大な地形と、美しい丘陵景観、そしてそこに根ざす人々の暮らしが織りなすフィールドです。私たちは、この地の自然の恵みと防災の両面を学び、未来へと活かすことを目的に活動を続けてまいりました。本大会が、多様な地域の実践や研究成果を共有し、ジオパークの理念をさらに広げていく大切な機会となることを願っております。

今回の大会では、基調講演や分科会をはじめ、物産展「丘と彩りのふれあいマルシェ」、さらには十勝岳を巡るポストツアーなど、多彩なプログラムを用意しております。参加者の皆様には、学びの場とともに、地域の食や文化、人々との交流も存分に楽しんでいただければ幸いです。

本大会の開催にあたりまして、多大なるご支援を賜りました関係機関、企業、そして地域住民の皆様に厚く御礼申し上げます。十勝岳の大地とともに生きる私たちの歩みを共有し、未来へとつなぐ本大会が、皆様にとって実りある時間となることを心から祈念いたします。

結びに、本大会の成功と、ジオパーク活動のさらなる発展をご祈念申し上げまして、挨拶といたします。

Contents

- ごあいさつ …… 01
- 開催概要 …… 03
- 会場案内 …… 03
- プログラム …… 03
- 分科会 …… 08
- ツアー …… 11
- 物産イベント …… 13
- 各会場案内 …… 15
- 宿泊先案内 …… 17
- お役立ち情報 …… 19
- スケジュール …… 21

第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会実行委員会

副委員長　斉 藤　繁（上富良野町長）

全国の日本ジオパークネットワーク関係者の皆さまをはじめ、関係団体や地域の皆さまなど、多くの方々のご協力により、「第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会」を美瑛町とともに、ここ上富良野町で開催できますことを、町を代表して心より歓迎申し上げます。

上富良野町は、北海道のほぼ中央、十勝岳連峰の麓に広がる自然豊かな町です。活火山である十勝岳を中心に、雄大な山岳景観と火山活動が育んだ肥沃な大地が広がり、四季折々に表情を変える風景が訪れる人々を魅了します。また、豊かな土壌と気候に恵まれた当町は、ラベンダーや農作物の栽培が盛んで、美しい農村風景ともに観光地としても発展してきました。とりわけ、十勝岳温泉郷や日の出公園からの景観は、多くの方々に親しまれております。

このような自然と人々の暮らしが調和した地域において、ジオパークという視点から地質や文化の価値を再認識し、それを未来へと継承していくことは、地域づくりの大きな力になると確信しております。

本大会を通じて、全国各地の皆さまと交流を深め、地域の個性と可能性について学び合い、それぞれの活動に活かされることを心より願っております。そして本大会が、全国のジオパーク活動の推進につながることを期待しております。最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただいた全ての関係者の皆さまに深く感謝申し上げ、皆さまのご健勝とご活躍をお祈りして、歓迎の挨拶とさせていただきます。

Tokachidake Geopark

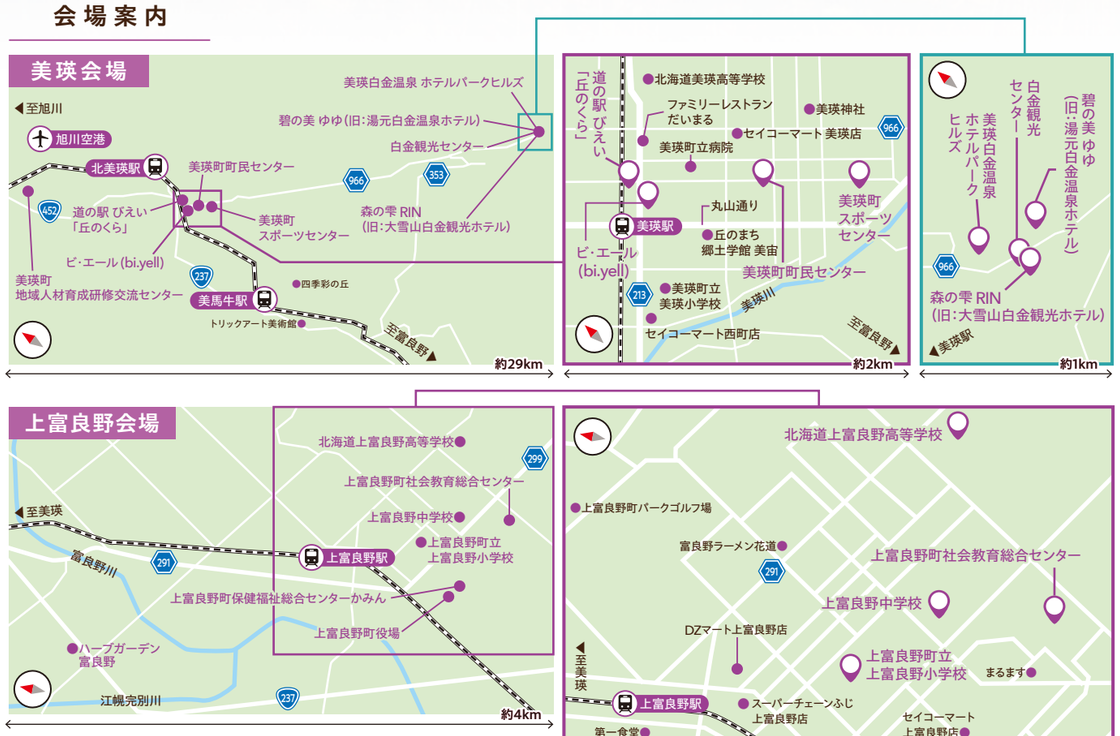
大会テーマ　「地球に学び、未来を育む」

十勝岳は日本を代表する活火山の一つであり、私たちに地球の活動を示してくれる存在です。この地域では過去の噴火や泥流災害を乗り越え、繋いできた営みがあり、それらは現在の防災·減災の意識にも現れています。この地球（ほし）で生きる私たちが授受する影響について再認識し、全国の仲間とともに次世代を担う人材の育成や持続可能な未来を創る一助になる場を目指します。

開催概要

大会名称	第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会
テーマ	地球に学び、未来を育む
会　期	2025年9月27日（土）～9月28日（日）
会　場	美瑛町スポーツセンター、上富良野町社会教育総合センターほか
主　催	第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会実行委員会、一般財団法人自治総合センター
協　力	特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク、日本ジオパーク委員会
後　援	北海道、北海道教育庁上川教育局
事務局	第15回日本ジオパーク全国大会十勝岳大会実行委員会事務局（十勝岳ジオパーク推進協議会） 〒071-0292北海道上川郡美瑛町本町4丁目6番1号　美瑛町役場3階 TEL : 0166-76-4004　E-mail : geo2025@tokachidake-geopark.jp

会場案内



プログラム Program

9月26日（金）

時間	内容	会場
10:00－12:00	JGC事前相談会	上富良野町保健福祉総合センターかみん
10:00－12:00	火山実験ワークショップ（高校生）	北海道上富良野高等学校
13:00－15:00	JGN運営会議	上富良野町保健福祉総合センターかみん
13:05－15:30	火山実験ワークショップ（小学生）	上富良野町立上富良野小学校
15:30－17:30	JGN全地域事務局長会議	上富良野町保健福祉総合センターかみん
18:30－20:00	JGN・JGC交流会	ハーブガーデン富良野（上富良野町）

9月27日（土）

時間	内容	会場
9:15-10:30	開会式	美瑛町スポーツセンター
10:00-15:30	物産展・出展ブース	丘のまち交流館bi.yellビ・エール 道の駅びえい「丘のくら」
10:40-12:00	基調講演 **宇宙創生から未来へ** ～これからの地球と私たち～ 講師 佐治 晴夫（理論物理学者／理学博士） 東京大学物性研究所、松下電器東京研究所、NASA客員研究員を経て、玉川大学教授、県立宮城大学教授、鈴鹿短期大学学長を歴任、現在、同短期大学名誉学長。大阪音楽大学大学院客員教授。美瑛町・美宙(MISORA)天文台名誉天文台長。無からの宇宙創生にかかわる「ゆらぎ」の理論研究や太陽系・外惑星探査機：ボイジャーに地球からＥＴへのメッセージとしてバッハの音楽を搭載することを提案したことなどで知られる。	美瑛町スポーツセンター
13:30-16:30	市町村長セッション	バス ツアー　出発地：美瑛町町民センター 終着地：ホテルパークヒルズ
14:00-17:00	分科会	
	(1)複数自治体で構成されるジオパークの課題検討	美瑛町町民センター第3・4会議室
	(2)目指せ1ジオパーク1ユニバーサルデザインコース ～すべての人が楽しく地球と触れ合えるモデルコースを作ろう～	美瑛町町民センター 和室A・B
	(3)ジオパーク×アドベンチャートラベル ～大地の魅力を生かして、“心に刻まれる旅”を提供するために～	美瑛町町民センター3F 大会議室
14:30-17:30	(4)生き物を守るってどういうこと？ ～とかち鹿追のナキウサギの事例から考える～	パークヒルズ西館1F 和宴会場B
	(5)全国のジオパークで取り組んでいる防災活動 ～全国のジオパークで実践する自然災害関連プログラムの共有～	パークヒルズ西館2F 洋宴会場A
	(6)ジオパークだからできる海洋環境問題について	パークヒルズ西館1F 和宴会場A
	(7)地質物品の保護と販売 ～地質物品に代わる代替商品を考えよう！～	パークヒルズ西館2F 洋宴会場B
	(8)実験を用いたジオパークの教育普及活動 ～ジオ火山実験を通して～	地域人材育成研修交流 センター食堂・ラウンジ
10:00-18:00	(9)ユースセッション2025	美瑛・上富良野町内 フィールドワーク、 地域人材育成研修交流 センター研修室A
18:30-20:00	交流会	ホテルパークヒルズ・ 碧の美ゆゆ・森の雫RIN

9月28日（日）

時間	内容	会場
9:00－11:15	口頭発表（一般・小中高）	上富良野町社会教育総合センター
9:00－14:55	ポスター発表（一般・小中高） (11:30～12:15 コアタイム)	上富良野中学校体育館
10:00－15:30	物産展・出展ブース	上富良野町役場前特設会場
13:15－14:15	パネルディスカッション	上富良野町保健福祉総合センターかみん
14:15－14:30	閉会式	上富良野町保健福祉総合センターかみん

Opening Attraction

オープニングアトラクション

上富良野町東中小学校　清流太鼓

日 時 2025年9月27日（土） 9:15～　**場 所** 美瑛町スポーツセンター

上富良野町立東中小学校は、ラベンダーと上富良野ポークで有名な上富良野町の東側にある学校です。校区以外の子どもも通える特認校で、全校31名の子どもがいます。

伝統文化である「東中清流太鼓」は、平成６年に曲が完成してから約30年間、子どもたちから子どもたちへと受け継がれてきました。運動会や学芸会などの学校行事はもちろん、町内の文化祭でも毎年披露し、これまでに上富良野町文化奨励賞も受賞しています。

本日披露する曲は、東中の豊かな自然の中で育った子どもたちが、地域を担う人間として、清らかに大きな河のごとく成長することを願って作られたものです。４・５・６年生が元気いっぱいに演奏します。どうぞお聞きください。

開会式

日 時 2025年9月27日（土）9:15～10:30　**場 所** 美瑛町スポーツセンター

プログラム

1. オープニングアトラクション　上富良野町立東中小学校 清流太鼓 演奏
2. 開催あいさつ　【大会実行委員長】美瑛町長 角和 浩幸
   【特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク】理事長 古川 隆三郎
   【日本ジオパーク委員会】委員長 中田 節也
3. 歓迎あいさつ　【北海道副知事】加納 孝之 様
4. 来賓紹介・あいさつ
5. 新規認定証授与
6. JGN表彰

市町村長セッション

日 時 2025年9月27日（土）13:30～16:30　**対 象** 各ジオパーク構成団体の首長1名

インフラ・ジオツーリズムを通じ、火山と共に生きるこの地域の背景や地域課題の解決に向けた取組事例について、実際のツアーコースを巡りながら紹介します。

(13:30 美瑛町町民センター出発　16:30 ホテルパークヒルズ着・解散)

交流会

日 時 2025年9月27日（土）18:30～20:00

場 所 ホテルパークヒルズ・碧の美ゆゆ・森の雫RIN

口頭発表（一般・小中高）

日 時 2025年9月28日（日）9:00～11:15　**場 所** 上富良野町社会教育総合センター

ジオパークに関するさまざまな活動事例、研究成果、問題点やそれに対する取り組みなど、幅広い観点からの事例を共有いたします。

ポスター発表

日 時 2025年9月28日（日）9:00～14:55　**場 所** 上富良野中学校体育館

コアタイム 11:30～12:15

Panel discussion

パネルディスカッション

日 時 2025年9月28日(日)13:15～14:15　**場 所** 上富良野町保健福祉総合センターかみん

テーマ **「わたしたちの地球とこれから」**

コーディネーター

佐藤 鋭一 准教授　北海道教育大学旭川校

●パネリスト

【山陰海岸ジオパーク推進協議会】小林 辰美 氏
【兵庫県立大学 山陰海岸ジオパーク推進協議会】松原 典孝 氏
【洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会】加賀谷 にれ 氏
【三好ジオパーク推進協議会 JGN生態学ワーキンググループ】福井 智香子 氏
【磐梯山ジオパーク】佐藤 公 氏
【一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構】野邉 一寛 氏
【糸魚川ジオパーク推進協議会】榊原 正幸 氏
【北翔大学】横山 光 氏
【一般社団法人鳥海山･飛島ジオパーク推進協議会】大野 希一 氏

閉会式

日 時 2025年9月28日(日)14:15～14:30　**場 所** 上富良野町保健福祉総合センターかみん

プログラム

1. 主催者お礼　【大会実行委員長】 角和 浩幸
2. 次年度開催地あいさつ　桜島･錦江湾ジオパーク
3. 閉会あいさつ　【大会副実行委員長】 斎藤 繁

ジオパーク巡回展「地球時間の旅」 文化庁

日 時 9月23日(火)～10月5日(日)　**場 所** 丘のまち交流館bi.yell ビ･エール

地球時間の旅は、全国のジオパークから集めた岩石や景色を通じて、身近に隠された地球スケールの物語を解き明かす巡回展です。この展覧会は、ジオパークの認知向上を目的としており、貴重な標本や写真を展示し、地球の歴史に触れることができます。

分科会 Breakout session

分科会1　14:00▼17:00

複数自治体で構成されるジオパークの課題検討

開催場所	美瑛町町民センター第３･４会議室	開催形式	グループワーク型	参加予定者	46名
主 催 者	山陰海岸ジオパーク推進協議会、三陸ジオパーク推進協議会、南紀熊野ジオパーク推進協議会				
世 話 人	小林 辰美(山陰海岸ジオパーク推進協議会)				
概　　要	ジオパークの管理運営組織は、国内で法的に認められた組織でなければならず、そこには地域の公共団体を含むべきとされています。日本のジオパークは運営主体が自治体の場合が多く、運営財源についてもほとんど自治体の負担金等に依ります。本来のジオパークとしてのボトムアップ活動を推進すると同時にスポンサーである自治体との調整は、不可欠な業務となります。特に複数の構成自治体からなるジオパークは、活動における様々な場面で調整が必要となることがあります。同じような複数構成自治体の体制を持つジオパーク同士が課題共有し、その解決について、抜本的な新しいアイデアをワーキングで提案できたらと思います。				

分科会2　14:00▼17:00

目指せ1ジオパーク1ユニバーサルデザインコース
～すべての人が楽しく地球と触れ合えるモデルコースを作ろう～

開催場所	美瑛町町民センター和室A･B	開催形式	グループワーク型	参加予定者	45名
主 催 者	JGNユニバーサルデザインWG				
世 話 人	松原 典孝(兵庫県立大学/山陰海岸ジオパーク推進協議会)				
概　　要	すべての人が地球のことを理解し、地球とともに心地よく持続的に生きていくモデル地区ともいえる「ジオパーク」。そこは、多様な人が多様な表情や現象を有する地球と楽しく触れ合う場でもあるべきです。一方で、地球の多様な表情や現象は、触れようとする人に様々な障壁をもたらすことがあります。それは段差などアクセスの障壁であったり、言語や説明文の難易度であったりと様々です。本分科会では、より多くの「多様な人」が楽しく地球と触れ合い、持続的に地球で生きていけるように、誰でも地球に触れることのできるユニバーサルデザインのサイト周遊モデルコースを作ります。				

分科会3　14:00▼17:00

ジオパーク×アドベンチャートラベル
～大地の魅力を生かして、“心に刻まれる旅”を提供するために～

開催場所	美瑛町町民センター３F大会議室	開催形式	事例共有+講習	参加予定者	116名
主 催 者	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会				
世 話 人	加賀谷 にれ(洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会)				
概　　要	アドベンチャートラベル(AT)はその地域の自然や文化を深く体感する旅のスタイルです。地域のさまざまな魅力を再発見しながら、持続可能な観光をめざす手法は、ジオパークの活動とも高い親和性があります。この分科会では、本大会プレツアーの実践事例を紹介しながら、ATの基本的な考え方やジオパークとの効果的な連携のあり方について共有します。後半は、北海道アドベンチャートラベルガイド(スルーガイド)で、通訳案内士でもある馬上千恵(もうえ･ちえ)さんを講師としてお迎えし、ATのツアーとして“心に刻まれる旅”を提供するために欠かせない「スルーガイド」の役割と技術を、実践を通して学びます。				

分科会4
14:30 ▼ 17:30

生き物を守るってどういうこと？～とかち鹿追のナキウサギの事例から考える～

開催場所	パークヒルズ西館1F和宴会場B	開催形式	グループワーク型	参加予定者	33名
主催者	JGN生態学ワーキンググループ、とかち鹿追ジオパーク推進協議会				
世話人	福井 智香子（三好ジオパーク推進協議会）、大西 潤（とかち鹿追ジオパーク推進協議会）ほか				
概要	北海道の山岳地帯に生息するエゾナキウサギ。その愛くるしい姿を一目見たいと訪れるカメラマンや登山者は多いものの、野生動物が大勢の人間に取り囲まれる現状や、それによる周辺の植物の踏み荒らしが問題視され、とかち鹿追ジオパークでは、ロープを張るなどの対策に乗り出しています。しかし、その効果の評価が難しく、また、マナーを尊重しない方とそれを問題視する方との間の対立など、頭の痛い課題をたくさん抱えています。ジオパークというプログラムを活かして生き物を守るにはどうすればよいのか。この分科会では、とかち鹿追ジオパークのエゾナキウサギを事例に考えます。				

分科会5
14:30 ▼ 17:30

全国のジオパークで取り組んでいる防災活動 ～全国のジオパークで実践する自然関連プログラムの共有～

開催場所	パークヒルズ西館２F洋宴会場A	開催形式	事例共有型	参加予定者	62名
主催者	JGN防災ワーキンググループ				
世話人	佐藤 公（磐梯山ジオパーク推進協議会）、鈴木 比奈子（専修大学）				
概要	日本は湿潤変動帯に位置し、各地のジオパークでは様々な自然災害と向き合ってきました。過去の災害に学び、それらを地域で伝えていくことは、次の災害への備えとなるとともに、その活動はやがて地域の文化や風土となっていきます。防災ワーキンググループは、この点に注目して、活動していきます。今回の分科会では、全国のジオパークで取り組まれている過去の災害に学ぶプログラムや防災に関する活動などの事例を共有し、ジオパークだからこそできる自然災害へのアプローチについて議論します。				

分科会6
14:30 ▼ 17:30

ジオパークだからできる海洋環境問題について

開催場所	パークヒルズ西館1F和宴会場A	開催形式	グループワーク型	参加予定者	29名
主催者	ユネスコ世界ジオパーク離島及び海岸地域ワーキンググループ、隠岐ジオパーク推進協議会				
世話人	野邉 一寛（一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構）				
概要	国連海洋科学の10年（2021年～2030年）において、日本ジオパークネットワークとしても海洋環境問題に取り組むこととした。また、ユネスコ世界ジオパークネットワークとしても海洋環境問題に取り組むこととし、「ユネスコ世界ジオパーク離島及び海岸地域ワーキンググループ」のアクションプランの実施事項となっている。日本国内における活動事例を共有するとともに、海外ジオパークとの共同プロジェクトの実施を検討する。				

分科会7
14:30 ▼ 17:30

地質物品の保護と販売～地質物品に代わる代替商品を考えよう！～

開催場所	パークヒルズ西館2F洋宴会場B	開催形式	グループワーク型	参加予定者	33名
主催者	地質物品の収集・販売を減らすための情報発信ワーキンググループ				
世話人	小河原 孝彦（糸魚川ジオパーク推進協議会）				
概要	地質物品の保護と販売の問題は、ジオパーク活動にとって大きな話題となっています。地質物品ワーキンググループでは、なぜ地質物品を販売してはいけないのかについて、海外の児童労働や紛争鉱物などの話題も取入れながら、基礎から学習してきました。その結果、地質物品の販売問題は、海外や他のGPの他人事ではなく、現代人として生活している一人一人の問題であることが明らかになりました。今回の分科会では、地質物品の販売問題についてジオパーク地域の事例を紹介するだけでなく、地質物品に代わるジオパークの代替商品の開発について、基調講演をいただき、議論を深めていきます。				

分科会8
14:30 ▼ 17:30

実験を用いたジオパークの教育普及活動から～ジオ火山実験を通して～

開催場所	地域人材育成研修交流センター食堂・ラウンジ	開催形式	グループワーク型	参加予定者	53名
主催者	全国火山実験研究交流会実行委員会、洞爺湖有珠山ジオパーク、北翔大学教育文化学部教育学科				
世話人	横山 光（北翔大学）、林 信太朗（でこぼこな地球のうえをあるくみるかんがえる研究所）				
概要	ジオパークは、地球の雄大なスケール感を体感することができる。しかし、大きな時間・空間スケールの現象を理解することは難しい。キッチン火山学をはじめとした実験を取り入れた教育普及手法は、難しい地学現象を目の前で手軽且つ安全に再現できるため、子どもでも実感を持った理解をすることができるプログラムである。実験を通して、何をこどもたちに考えさせるか、どのような場面で実験を活用するか、教育効果の検証などが課題である。実験を題材とした分科会として２年目となる本大会では、開催地にちなんだ「火山」の実験を通して、実際に学校教育やガイド活動などに組み込んでいる例を現場で実践している方々に事例発表していただき、グループワークでそれぞれのジオパークで応用する術を検討する。本分科会を通して実験を用いた教育活動の更なる普及と発展を目指したい。				

分科会9
10:00 ▼ 18:00

ユースセッション2025

開催場所	美瑛・上富良野町内フィールド 地域人材育成研修交流センター研修室A	開催形式	フィールドワークと グループワークの混合	参加予定者	39名
主催者	JGNユースセッション運営チーム				
世話人	大野 希一（鳥海山・飛島ジオパーク）				
概要	この分科会では、国内のジオパーク地域で地域課題の解決に向けて活動を行っている高校生や大学生を中心とするユース世代が、対話を通じて、地域や地球の未来を考える場とする。具体的には、十勝岳ジオパークが有する地質・自然・文化遺産の特徴について、現地および室内にて意見交換を行った後、それらの保護と持続可能な活用の在り方を考える。この分科会への参加をきっかけに、各地域のユース間の実質的な連携を強化し、JGN内にユースネットワークを構築する基礎をつくることが、本分科会の目的である。				

ツアー tour

プレツアー

9.24(水)▼25(木) アドベンチャートラベル体験ツアー 有珠山の恵みをめぐる。 −そして、2000年噴火の核心部へ

主催 洞爺湖有珠山ジオパーク

洞爺湖有珠山ジオパークで実施しているアドベンチャー・トラベル(AT)を体験していただくツアー。洞爺湖と有珠山に代表される火山景観とそこで暮らす人の文化、海産物や果物と火山との物語、そして温泉を堪能しながら洞爺湖有珠山ジオパークの物語をたどる旅。2日目には、2000年噴火の最大火口「有くん火口」からさらに奥へ―。通常立ち入ることができない有珠山西麓の金比羅山火口群エリアに、特別な許可を得て踏み込む探検ツアーです。

9.24(水)▼25(木)▼26(金) 生態学分科会連動巡検 「とかち鹿追ジオパークのナキウサギと苔の森見学」 ～生き物を守るってどういうこと？～

主催 とかち鹿追ジオパーク推進協議会
協力 JGN生態学ワーキンググループ

最初に、これはツアーではありません、主催者と一緒に生態系保全の現場を見学し参加者間でディスカッションを行う巡検です。とかち鹿追ジオパークに生息するエゾナキウサギをテーマに、生き物を守るということはどういうことかを見つめ直します。地下に永久凍土が存在し、夏に冷たい風を噴き出す風穴と「日本の貴重なコケの森」が広がる鹿追の山中を巡りながら参加者間でディスカッションします

9.25(木)▼26(金) ぐるっと日高山脈とかんらん岩 探訪の旅

企画運営 アポイ岳ジオパーク推進協議会
取扱旅行会社 日交ハイヤー㈱日光旅行サービス

日本最大級の国立公園に指定された日高山脈襟裳十勝公園を周回しながら、その景観や地質・岩石と触れ合い北海道誕生のメカニズムに迫るツアー。

9.26(金) “三笠1億年のモノ語り” 時間旅行―化石×炭鉱×ワインを巡る1日

主催 三笠ジオパーク推進協議会

国内最大級のアンモナイト化石のコレクションを誇る「三笠市立博物館」。1億年前や5,000万年前の大地の記憶、そして人々の営みの記憶を体感できる散策コース「野外博物館」。建設当時は東洋一と謳われた「旧奔別炭鉱立坑櫓」。農家でありながら酒類製造免許を取得した、北海道の小規模ワイナリーの草分けである「山崎ワイナリー」。化石、炭鉱、そしてワインと、三笠ジオパークの主要な地域資源をぎゅっと一日に凝縮したツアーです。

9.25(木)▼26(金) アイヌ文化に触れて、北海道最高峰 「旭岳」と豊富な水を巡ろう！

主催 大雪山カムイミンタラ ジオパーク構想推進協議会
旅行企画・実施 (一社)大雪カムイミンタラDMO

アイヌの人々に伝わる伝説や大地のダイナミックな変動を感じることができる神居古潭。地球の息吹を感じる火山活動と豊かな生態系をみせてくれる旭岳。上川アイヌの文化と豊かな自然の恵みを知ることができるツアーです。

ポストツアー

9.28(日)▼29(月) 火山と共生するまちをめぐる

主催 美瑛町観光協会
企画 十勝岳ジオパーク推進協議会

十勝岳ジオパークは、火山と共生しながら人々が暮らしています。本ツアーでは、過去に経験した火山噴火による泥流災害の痕跡を巡り、自然の脅威を知るのと同時に、今現在、どのようにこの地域の人々が火山と共生しているのか学びながら火山のあるまちを楽しんでいただくコースとなっています。

9.28(日)▼29(月) 彩りの丘と森の息吹を五感で楽しむジオツアー

主催 美瑛町観光協会
企画 十勝岳ジオパーク推進協議会

火山活動によって作られた丘、様々な年代のタイムトラベルのような原生林でのトレッキング。標高約1,000m地点での巨木の森では、森林浴と山ヨガ。そして、火山の恵みを感じる食事と温泉。五感を最大限活用して十勝岳ジオパークを楽しむコースとなっています。

9.28(日)▼29(月) 秋の十勝岳トレッキング&美瑛パノラマサイクリング

主催 美瑛町観光協会
企画 十勝岳ジオパーク推進協議会

十勝岳ジオパークを冒険してみよう!!手始めに、火山活動によって産まれた美瑛軟石とラベンダー栽培発祥の地である上富良野町で製造されたラベンダーオイルを使用したオイルストーンを制作。その夜は、北海道一標高の高い宿 湯元 凌雲閣で交流会、温泉やお宿を堪能していただきます。2日目の午前は、ヌッカクシ火口までトレッキングを行い、火山の壮大さを感じていただき、午後は、丘の道をサイクリングしながら、火砕流堆積である丘の規模感を感じていただきます。十勝岳ジオパークで体をたくさん動かしたい方必見のコースです。

9.28(日)▼29(月) 十勝岳の恵み♪体感ツアー

主催 美瑛町観光協会
企画 十勝岳ジオパーク推進協議会

ビールに日本酒にワイン。豚サガリにかみふらのポークに美瑛牛、じゃがバター…。十勝岳ジオパークのおいしいグルメを余すことなく堪能しまくるツアーです。生産者のお話を直接聞いたり、収穫体験をしたり、生産地ならではの体験もしていただきます。食いしん坊は参加すべし。

9.28(日)▼29(月) 十勝岳&火山の恵み満喫コース

主催 美瑛町観光協会
企画 十勝岳ジオパーク推進協議会

十勝岳ジオパーク王道スポットを満喫するならこのコース!初日は、美瑛エリアの青い池と青い川に建設された透過型砂防ダムを見学、青い水の謎を探り、その後、宿泊地 十勝岳温泉「お宿カミホロ荘」へ。2日目、十勝岳の裾野を、前回の噴火を間近で目撃した語り部と共にトレッキング、十勝岳の噴火や歴史、自然を体験します。上富良野名物「豚サガリ」の昼食後、午後は美瑛の丘の絶景を楽しみながらのミニハイクでうねる丘の謎に迫り、観光地となるきっかけを作った写真家・前田真三氏の写真館「拓真館」を訪ねます。最後は美瑛牛のミルクやソフトを楽しんで、火山の恵みでできた野菜等を美瑛選果で。

9.29(月) とかち鹿追ジオパークの見どころガイドツアー

主催 とかち鹿追ジオパーク推進協議会

とかち鹿追ジオパークの一番の見どころである「風穴の森」をメインにガイドが案内します。

丘と彩りのふれあいマルシェ 物産展会場案内

「丘と彩りのふれあいマルシェ」では、美瑛・上富良野の秋の味覚や人気飲食店、キッチンカーが並び、地域ならではのグルメが楽しめます。北海道内のお土産品や、全国26のジオパークから届く特色あふれる特産品が並ぶ「ジオショップ」も見逃せません。
さらに、自然・科学・地球をテーマにした体験コーナーや、企業・団体によるブース展示など、大人も子どもも学んで楽しめる内容が盛りだくさん。ジオパーク大会をより深く味わえる2日間です。

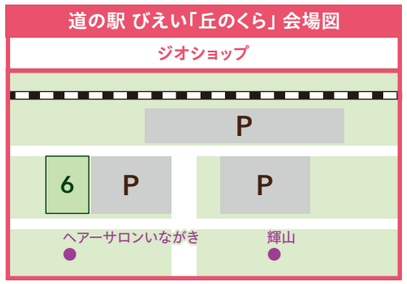
環境への配慮のため、マイバックやマイ箸などのご持参にご協力をお願いいたします。

【美瑛会場】場所▶❶道の駅びえい「丘のくら」/ ❷bi.yell(ビ・エール)

美瑛会場は 27日(土) 10:00～15:30 開催

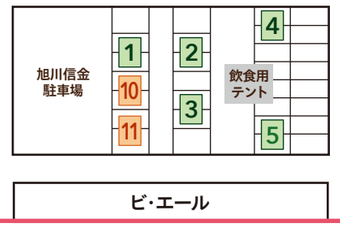
美瑛会場周辺図

道の駅 びえい「丘のくら」会場図



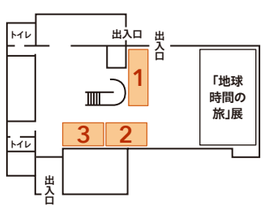
ビ・エール野外ブース(駐車場) 展示ブース配置図

ブース展示・キッチンカー



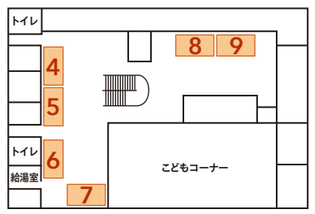
ビ・エール1F 配置図

ブース展示・「地球時間の旅」展



ビ・エール2F 配置図

ブース展示



Enjoy

1	公益財団法人イオン環境財団
2	株式会社ジオ・ラボ／株式会社KOO
3	国立研究開発法人 防災科学技術研究所
4	フラヌイウンクル
5	特定非営利活動法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会
6	アジア航測(株)×(株)ウェザーコック
7	旭川地方気象台
8	火山からのおくりもの：十勝石(黒曜石)
9	アポイ岳ジオパーク(北海道様似町)
10	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会
11	大雪青少年交流の家

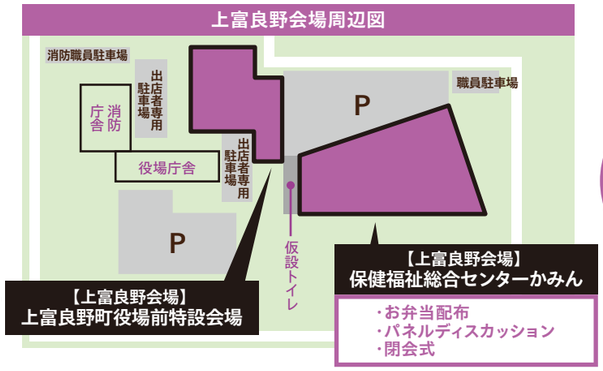
Shopping

1	てらてらの丘
2	珈喱屋アマデウス
3	cope café
4	おいしい理由。
5	フード&産直 あつまれ
6	GEO SHOP(ジオショップ)【丘のくら内】

上富良野会場 場所▶上富良野町役場前特設会場

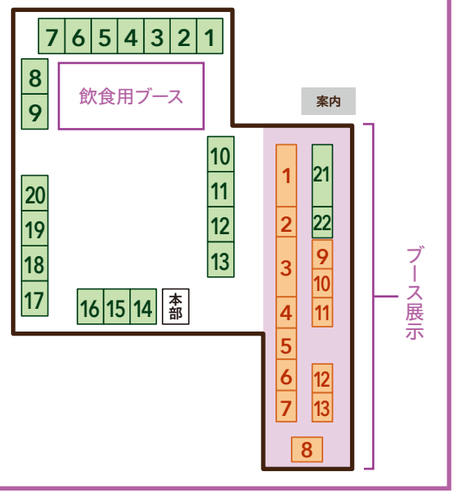
上富良野会場は 28日(日) 10:00～15:30 開催

上富良野会場周辺図



上富良野町役場前特設会場 ブース配置図

ブース展示(体験広場)・ジオショップ・飲食店・キッチンカー・収穫祭



Enjoy

1	公益財団法人イオン環境財団
2	株式会社ジオ・ラボ／株式会社KOO
3	上富良野書道愛好会
4	国立研究開発法人 防災科学技術研究所
5	大雪青少年交流の家
6	ジャパンエコトラック推進協議会
7	フラヌイウンクル
8	アジア航測(株)×(株)ウェザーコック
9	特定非営利活動法人有珠山周辺地域ジオパーク友の会
10	大雪山カムイミンタラジオパーク構想推進協議会
11	白滝ジオパーク
12	旭川地方気象台
13	火山からのおくりもの：十勝石(黒曜石)

Shopping

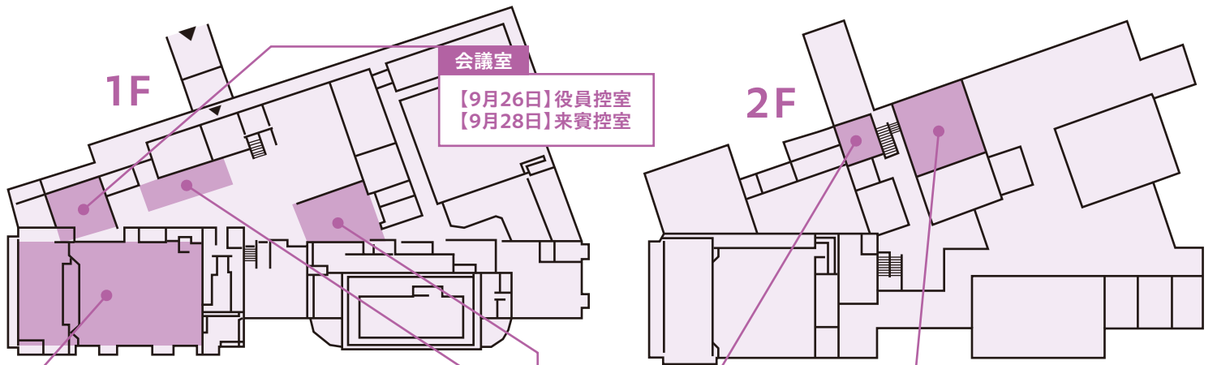
1	凌雲閣
2	ふらの香りの舎
3	ゐーまーる
4	TF食品㈱
5	KAMIHOTARU
6	Kaneko Coffee Beans
7	こもれびより
8	てらてらの丘
9	しまねずみファーム
10	有限会社 多田農園
11	合同会社 たてお農園
12	収穫祭事務局
13	農業地域おこし協力隊(野菜釣り)
14	JAふらの
15	JAふらの
16	上富良野産新米販売
17	収穫祭事務局
18	農業地域おこし協力隊(カレー)
19	収穫祭 ドリンク販売
20	豚肉販売推進協議会
21	GEO SHOP(ジオショップ)
22	ハーブガーデン富良野

Tokachidake Geopark

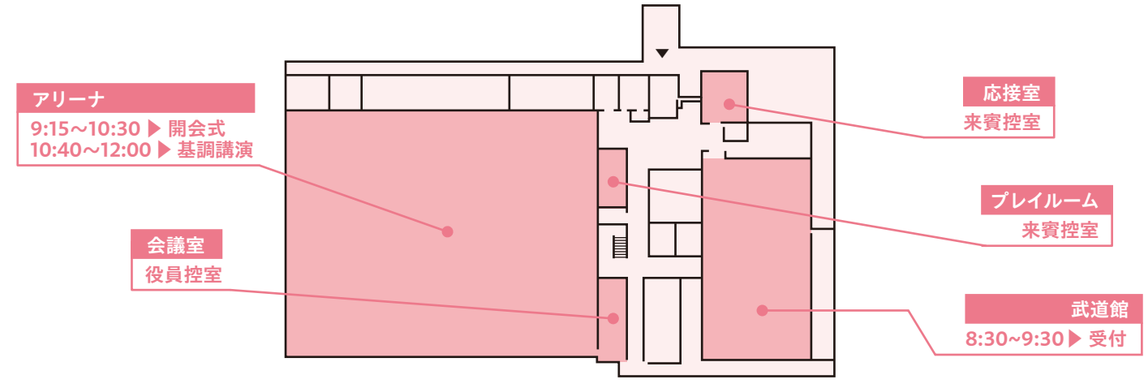
- ★全国の“ジオの恵み”が集結!ジオショップ
- ★見て・触れて・学べる!体験広場
- ★ご当地グルメ満喫!飲食・キッチンカーコーナー
- ★秋の恵みを楽しむ!収穫祭【28日のみ】
- ★ジオパーク巡回展「地球時間の旅」【27日のみ】

各会場案内

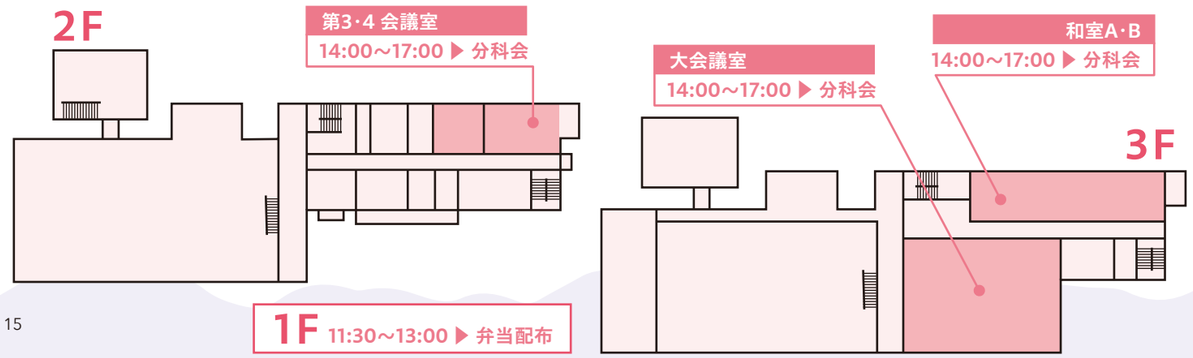
【上富良野】上富良野町保健福祉総合センター 9月26日(金)• 9月28日(日)



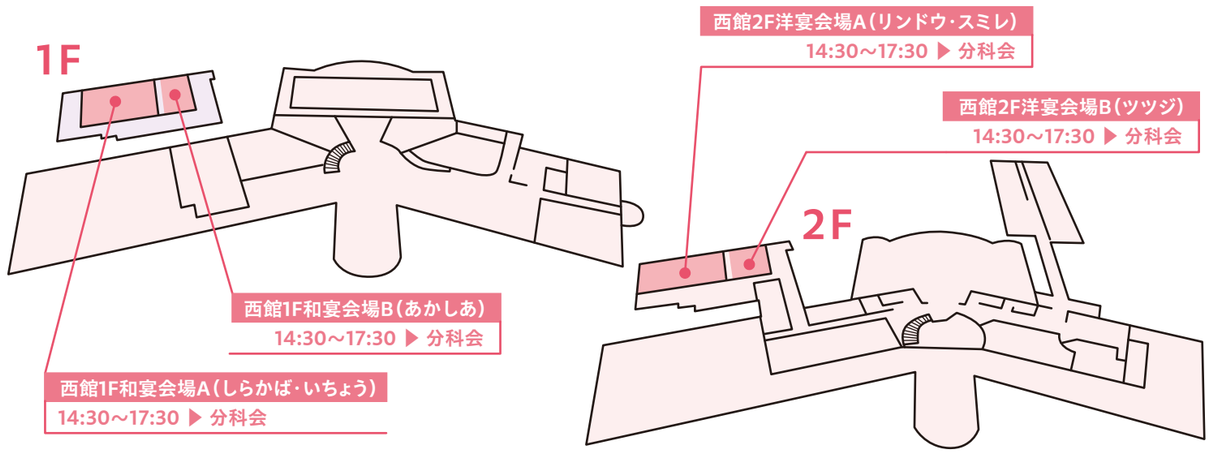
【美瑛】美瑛町スポーツセンター 9月27日(土)



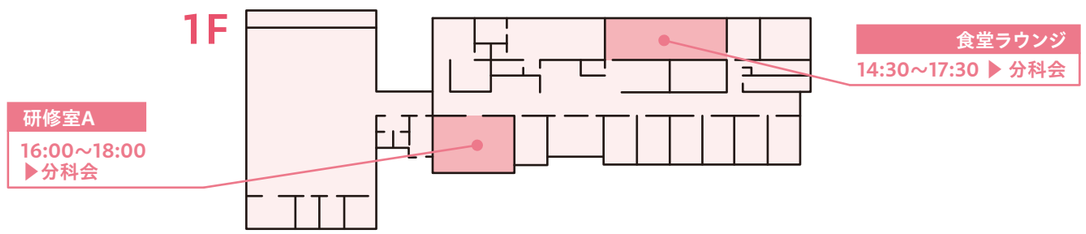
【美瑛】美瑛町町民センター 9月27日(土)



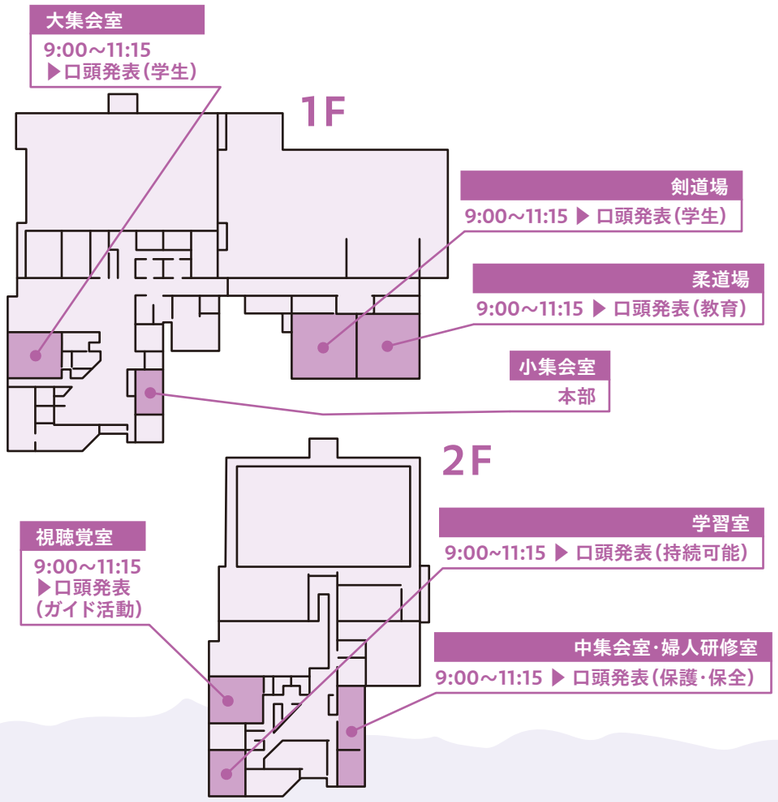
【美瑛】パークヒルズ 9月27日(土)



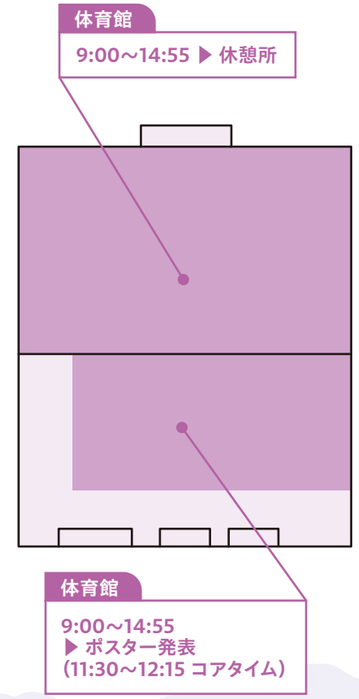
【美瑛】地域人材育成研修交流センター 9月27日(土)



【上富良野】社会教育総合センター 9月28日(日)



【上富良野】上富良野中学校 9月28日(土)



宿泊先一覧

No	宿泊施設名	所在地（住所）	電話番号
1	ホテルパークヒルズ	北海道上川郡美瑛町字白金	0166-94-3041
2	森の雫RIN	北海道上川郡美瑛町字白金	0166-94-3111
3	碧の美ゆゆ	北海道上川郡美瑛町字白金	0166-94-3333
4	湯元 凌雲閣	北海道空知郡上富良野町十勝岳温泉	0167-39-4111
5	富良野ホップスホテル	北海道空知郡上富良野町西2線北25号	0167-45-6511
6	ホテル ラヴニール	北海道上川郡美瑛町本町1丁目9-21	0166-92-5555

バス時刻表

9月26日（金）

JGN運営会議会場行き

No.	起点	終点
1-1	10:00 旭川空港	11:00 上富良野町保健福祉総合センター かみん

交流会会場行き

No.	起点	終点
1-2	17:45 上富良野町保健福祉総合センター かみん	17:55 ハーブガーデン富良野

宿泊施設行き

No.	起点	終点
1-3	20:10 ハーブガーデン富良野	20:40 湯元 凌雲閣
1-4	20:10 ハーブガーデン富良野	20:20 富良野ホップスホテル
1-5	20:10 ハーブガーデン富良野	20:30 ホテル ラヴニール

9月27日（土）

開会式/基調講演会場行き

No.	起点	終点	備考
2-1	8:00 旭川駅	8:40 美瑛町スポーツセンター	
2-2	8:50 旭川空港	9:00 美瑛町スポーツセンター	
2-3	8:00 湯元 凌雲閣	9:00 美瑛町スポーツセンター	
2-4	8:20 富良野ホップスホテル	8:50 美瑛町スポーツセンター	
2-5	8:30 ホテル ラヴニール	8:40 美瑛町スポーツセンター	

分科会会場行き

No.	起点	終点	備考
2-6	12:50 美瑛町町民センター	13:30 ホテルパークヒルズ	
2-7	13:00 美瑛町町民センター	13:40 ホテルパークヒルズ	
2-8	10:00 美瑛町スポーツセンター		ユースセッション
2-9	13:30 美瑛町町民センター	14:00 地域人材育成研修交流センター	
2-10	13:30 美瑛町町民センター	16:30 ホテルパークヒルズ	市町村長セッション

交流会会場行き

No.	起点	終点	備考
2-11	17:30 美瑛町町民センター	18:10 白金温泉	
2-12	17:30 地域人材育成研修交流センター	18:15 白金温泉	スポーツセンター経由

美瑛駅/スポーツセンター行き

No.	起点	終点	備考
2-13	18:30 地域人材育成研修交流センター	19:00 美瑛町スポーツセンター	美瑛駅経由
2-16	18:30 ホテルパークヒルズ	19:00 美瑛駅	スポーツセンター経由

宿泊施設行き（ユースセッション参加者）

No.	起点	終点	備考
2-14	18:30 地域人材育成研修交流センター	20:10 湯元 凌雲閣	大雪青少年交流の家経由
2-15	18:30 地域人材育成研修交流センター	20:10 湯元 凌雲閣	

9月28日（日）

口頭発表会場行き

No.	起点	終点
3-1	8:00 白金温泉	8:40 上富良野町 社会教育総合センター
3-2	8:00 湯元 凌雲閣	8:30 上富良野町 社会教育総合センター

閉会式会場行き

No.	起点	終点
3-3	12:20 上富良野町 社会教育総合センター	12:30 上富良野町保健福祉総合センター かみん

旭川空港行き

No.	起点	終点
3-4	15:00 上富良野町保健福祉総合センター かみん	15:40 旭川空港

旭川駅行き

No.	起点	終点
3-5	15:00 上富良野町保健福祉総合センター かみん	16:00 旭川駅

荷物配送サービス（ヤマト運輸）

※利用者一名につきに預けられる荷物は1つまで
※申し込みされた方は、名札ケースに荷札を封入しています。

9月27日（土）

★美瑛町スポーツセンター⇒白金温泉３ホテル

受付11:00まで

大会終了後、上富良野町保健福祉総合センターかみんから荷物発送を希望される方に受付時宅急便伝票（着払い）を配布します。

9月28日（日）

★白金温泉3ホテル⇒上富良野町保健福祉総合センターかみん

受付８：３０まで

受渡し	9月28日（日） ★上富良野町保健福祉総合センターかみん ▶ 11:00~15:30

お弁当の引渡しについて

※事前に申し込みされた方には、名札ケースに引換券を封入しています。

9月27日（土）

★美瑛町町民センター ▶ 11:30~13:00

9月28日（日）

★上富良野町保健福祉総合センターかみん ▶ 11:30~13:00

美瑛町

美瑛ハイヤー㈱	0166-92-1181
(有)光交通	0166-92-1270

上富良野町

上富良野ハイヤー㈱	0167-45-3145
(有)十勝岳ハイヤー	0167-45-3147

ウェルカムメッセージカード展示

会場▶上富良野町保健福祉総合センターかみん 1F ふれあいホール日時 ▶9月28日（日）9:00~14:30

「なまらいいべや！びえい・かみふらの！！」

十勝岳ジオパークから全国へ、子どもたちの声を届けます。

美瑛町・上富良野町の小学生が、全国大会に訪れる皆様へ向けて心を込めて書いた「ウェルカムメッセージカード」を展示します。カードには、地球の未来を守るためのメッセージ、ふるさとへの誇り、そして来場者への温かい歓迎の気持ちが込められています。
この展示は、地域の子どもたちがふるさとの魅力を再発見し、全国の皆様と心を通わせるきっかけとなるものです。ぜひ会場で、未来を育む言葉のひとつひとつに耳を傾けてみてください。

全国大会特別記念事業 ジオ自由研究作品展展示

会場▶上富良野中学校体育館　日時▶9月28日（日）9:00~14:55

十勝岳ジオパークエリア（美瑛町・上富良野町）の小学生たちが、夏休み期間を通して取り組んだ自由研究作品を展示します。
地質・地形、動植物、歴史・文化、産業・観光、アイヌ文化など、地域と自分たちの暮らしとのつながりをテーマに、子どもたちが自ら調べ、考え、表現した力作が並びます。
この展示は、全国大会の記念特別事業として開催され、未来を担う子どもたちのまなざしを通して、十勝岳ジオパークの魅力を再発見できる場となっています。どうぞご自由にご来場いただき、子どもたちの探究の成果をご覧ください。

スケジュール

9月27日(土)

時間	美瑛町スポーツセンター	美瑛町町民センター 第3・4会議室	美瑛町町民センター 和室A・B	美瑛町町民センター 3F大会議室	ホテルパークヒルズ 西館1F和宴会場B	ホテルパークヒルズ 西館2F洋宴会場A	ホテルパークヒルズ 西館1F和宴会場A	ホテルパークヒルズ 西館2F洋宴会場B	地域人材育成研修交流センター 食堂・ラウンジ	地域人材育成研修交流センター 研修室A	美瑛・上富良野町内フィールド	市町村長セッション	丘のまち交流館bi.yell ビ・エール	道の駅びえい「丘のくら」	碧の美ゆゆ	森の雫RIN	時間
9:00	開会式 9:15~10:30 →p5																9:00
10:00											分科会9 ユースセッション 10:00~16:00 →p10		物産展・出展ブース 10:00~15:30 →p13~14				10:00
11:00	基調講演 10:40~12:00 →p4																11:00
12:00																	12:00
13:00												市町村長セッション (バスツアー) 【出発地】美瑛町町民センター 【到着地】ホテルパークヒルズ 13:30~16:30 →p6					13:00
14:00		分科会1 14:00~17:00 →p8	分科会2 14:00~17:00 →p8	分科会3 14:00~17:00 →p8	分科会4 14:30~17:30 →p9	分科会5 14:30~17:30 →p9	分科会6 14:30~17:30 →p9	分科会7 14:30~17:30 →p10	分科会8 14:30~17:30 →p10								14:00
15:00																	15:00
16:00										分科会9 ユースセッション 16:00~18:00 →p10							16:00
17:00																	17:00
18:00															交流会 18:30~20:00 →p6		18:00
19:00					交流会 1Fマルシェダイニング 18:30~20:00 →p6												19:00
20:00																	20:00

9月28日(日)

時間	上富良野町社会教育総合センター 大集会室	剣道場	柔道場	視聴覚室	中集会室	学習室	上富良野町保健福祉総合センターかみん	上富良野中学校体育館	上富良野町役場前特設会場	時間
9:00	口頭発表 学生セッション 9:00~11:15 →p6	口頭発表 学生セッション 9:00~11:15 →p6	口頭発表 教育セッション 9:00~11:15 →p6	口頭発表 ガイド活動セッション 9:00~11:15 →p6	口頭発表 保護・保全セッション 9:00~11:15 →p6	口頭発表 持続可能セッション 9:00~11:15 →p6		ポスター発表 9:00~14:55 コアタイム 11:30~12:15 →p6		9:00
10:00									物産展・出展ブース 10:00~15:30 →p13~14	10:00
11:00										11:00
12:00										12:00
13:00							パネルディスカッション 13:15~14:15 →p7			13:00
14:00							閉会式 14:15~14:30 →p7			14:00
15:00										15:00